SAMI NEWS No.74

動物医療発明研究会

Summer 2026

会員の皆様、平素より動物医療発明研究会の運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。

今年の夏は、熊本や千葉など各地で災害が相次ぎ、多くの方々が不安な日々を過ごされました。被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

災害のニュースに触れるたび、人の命はもちろん、そこに暮らす犬や猫など、動物たちの命もまた、かけがえのない大切なものであることを改めて感じます。突然の災害の中で、飼い主さんと離れ離れになったり、十分な医療や食餌を受けられなくなったりする動物たちの姿には、胸が痛みます。

私たち獣医師にできることは何か。日頃から動物たちの命を守るために何を備えておくべきか。こうした出来事をきっかけに、改めて考えさせられる夏となりました。

これからも、皆様と動物たちにとって穏やかな日々となりますよう願っております。

2026 年動物医療発明研究会 総会＆ミニセミナー 開催のお知らせ

2026 年動物医療発明研究会 総会＆ミニセミナー 開催のお知らせ

今年も例年同様にハイブリッド開催（対面＆オンライン）いたします。
沢山のご参加をお待ちしております。

日時：10 月 12 日（月）14:00～17:30（予定）

会場：ゾエティス・ジャパン株式会社　本社会議室

住所：東京都渋谷区代々木３－２２－７新宿文化クイントビル 14 階

※会場は人数制限があります（約 20 名）。

参加者多数の場合は都内の貸し会議室を利用する予定です。

※Zoom による Live 配信もいたします。右記の QR コードからアクセスしてください。
ミーティング ID: 948 2314 4434　　パスコード: 097302



ミニセミナー

① 増加する人獣共通感染症を考える －流行している SFTS とレプトスピラ症から身を守るためには？
村田佳輝先生（千葉県；むらた動物病院）

主な内容：

- SFTS：野生動物での蔓延、ダニだけではない伝播サイクル、診察時の対応、予防のために外出時にできること
- レプトスピラ症：発生が見られる環境（危ない状況）、消毒、診察時の対応、将来的に求められるワクチン像

② 動物病院での AI 活用の工夫 Discussion(仮)　全員で討議※

③ ①と②について、事前質問ならびにアイディアを受け付けます。

右記 QR コードから Forms にアクセスしてください。

参加される方はメールにてお知らせください（9 月 15 日まで）

Mail: 2021hatsumeiken@gmail.com　　□参加（対面）、　□参加（Zoom）



誠心誠医、創医工夫 ～明日の臨床に役立つヒント～

山口　潤（石川県・希望の丘どうぶつ病院　院長）



今から 10 年前になりますが、発明研究会の会誌で日常業務の中でのちょっとしたアイディアを紹介するコーナーを不定期でやっていた時期がありました。
当時、編集を担当していた野間さんと一緒に「誠心誠医、創医工夫」というコーナー名を考え、何度か掲載したのですが、私自身のネタ不足もあり、そのまま途絶えてしまっていました。

今回、思うところがあり、清水先生にお願いして、コーナーを復活していただきました。

初回は、「薄い紙資料の背表紙、どうしてる問題」です。
講義資料のペーパーレス化が全盛のご時勢ですが、私も含め、紙の資料の方が有難い世代の方も多いのではないでしょうか。ただ、セミナーのハンドアウトなど、薄い冊子は背表紙がないことが多く、本棚に並べてもタイムリーに探すことができず、有効に活用できないことがあります。（私だけ？）そこで、昔懐かしい、学校の図書館の蔵書に貼られていた「小判ラベル」なるものを使うと、やや字は小さいものの、本棚で見つけやすくすることができます。（写真参照）

また同様に背側（dorsal）からみると内容がわからないリングノート状の資料にもその名も「リングノートの背表紙」を使うと背表紙をつけることができます。（写真参照）まだまだアナログで手元に置いておきたい資料もありますよね。











今回はここまでですが、山口先生のコラムはまだ続きます。次回もお楽しみに。

私の小さなアイディア ～気管内挿管でのちょっとした工夫～

清水邦一（神奈川県横浜市　清水動物病院　院長）

気管内挿管をスムーズに行うための工夫をご紹介します。

● 喉頭反射を低下させる目的で、挿管の少し前に点眼麻酔剤「ベノキシール」を鼻孔に滴下するとともに、「キシロカインゼリー」を口唇の隙間から入れておきます（図 1、図 2）。

● 体位は仰臥位がお勧めです（図 3）。普通は、喉頭鏡なしで挿管できます。

挿管の際には、助手が A、B を保持した後、術者が C を支え光が喉頭に届くように調節して挿管します（図 3）。
ちょっとした準備や役割分担が、よりスムーズな気管内挿管につながります。



図 1．麻酔前の点眼麻酔剤の鼻腔投与



図 2．麻酔前の表面麻酔剤の口内塗布

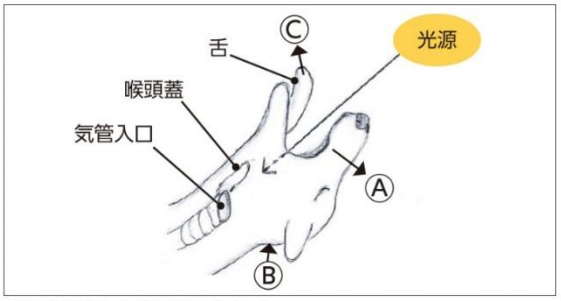


図 3．仰臥位による挿管のポイント

【新入会員のご紹介】

幸 辰憲（ゆき たつのり）大分県 くまさきアニマルクリニック



この度 SAMI に入会させて頂きました大分県でくまさきアニマルクリニックを開業しております幸 辰憲と申します。 清水先生のウサギ用臼歯カッター及び快適な動物診療（文英堂出版）、岸上正義先生のＫＰＳ、川又哲先生の獣医療工房（アニマル・メディア社）に感銘を受けて以来、新たな機器や斬新なアイディアを探索し続けてきました。

その際偶然こちらの会の HP を拝見して、思い立ったら吉日とそのままの勢いで入会の申込みをさせて頂いた次第です。大きな目標ではないですが、自分もこれからの獣医療の少しでも役立つ発明をいつかしてみたいと模索する日々を過ごしています。距離的な問題もあって総会等にはリモート参加程度に留まってしまうかとは思いますが、こちらで会員の先生方の優れた発想法や考え方を学ばせて頂ければ嬉しい限りです。まだ開業８年目の若輩者ですが、宜しくお願い申し上げます。

細川 敦史　　湧永製薬株式会社





はじめまして、湧永製薬の細川と申します。
湧永製薬は滋養強壮剤　キヨーレオピンが主力製品の製薬会社です。
2026 年 6 月で創業７１年目を迎え、OTC の分野では長い歴史がございますが、動物医療の分野ではまだまだ新参者です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

①入会のきっかけ

清水先生のように穏やかな方が多いと伺いまして入会させて頂きました。

②会社の宣伝

犬用健康補助食品「セルアップオーラル」

「セルアップオーラル」は、人用のキヨーレオピンと同じ熟成ニンニク抽出液を主成分とした犬用の健康補助食品です。人用と同じ元気の成分ですので、ワンちゃんの健康維持に役立つ製品です。
また口腔内の健康を保つ効果が臨床試験（口臭・歯肉炎）で確認されております。熟成ニンニク抽出液には、「Ｓ１ＰＣ®」をはじめとする天然由来の希少なアミノ酸を含んでおり、これら有用な成分が抗酸化や抗炎症、抗糖化、恒常性維持などに役立ち、ワンちゃんの「健康寿命延伸」をサポートします。

④ 今、夢中になっていること

ゴルフ現在、YouTube でゴルフ動画を視聴、あーでもない、こーでもないと迷走中。まずは未達成の１００切りを目指し、練習中です。イメージするスイングはあるのですが、実際のスイングを動画で見ると・・・思っているのとは、違うのはなぜ？　誰か教えて下さい(´ ；ω；`)ｳｳｳ

⑤ 発明研究会にのぞむこと

まだ加盟病院様がわかりませんので、色々な動物病院様と接点を持たせて頂き交流させて頂けますと幸いです。よろしくお願い致します。

山田 莉加（やまだ りか）　株式会社 医療情報研究所



はじめまして。株式会社医療情報研究所の山田莉加と申します。
獣医師の先生方向けの映像教材や実習セミナーの企画・制作に携わっています。
診療技術や考え方を、時間や地域の制約なく学べる形にすることを目指し、
各分野の第一線で活躍されている先生方と一緒に教材づくりをしています。
腫瘍、循環器、画像診断、エキゾチックアニマルなど、テーマは幅広いのですが、共通しているのは「現場で本当に役立つこと」。教材制作を通じて、先生方の「診断ノウハウ」や「うまくいかなかった経験から得た工夫」に触れることが多く、毎回とても刺激を受けています。

1. 入会のきっかけ

以前から弊社の映像教材で大変お世話になっている清水宏子先生、ならびに清水邦一先生とのお話の中で、こちらの動物医療発明研究会をご紹介いただいたことがきっかけです。「動物医療 × 発明」という組み合わせがとても面白く、現場の課題から新しいものが生まれていく考え方に強く惹かれました。実際に先生方がどんな視点で課題を見つけ、形にしていくのか、今からとても楽しみにしています。

2. この研究会でやりたいこと

私は獣医師ではありませんが、色んな先生方のお話を伺う中で、「これ、もっと広まれば助かる先生が多いのに」と感じるアイディアや工夫にたくさん出会ってきました。この研究会では、皆さまの発想や知見を学ばせていただきながら、映像やコンテンツ制作という立場から、「良いものをどう伝えるか・残すか」について何かお役に立てたら嬉しいです。また、業界外の視点だからこそ気づけることもあるかもしれません。
ぜひいろいろ学ばせていただきたいです！

3. 今夢中になっていること

最近は、獣医師の先生方の「診療の裏ワザ」や「なぜその発想に至ったのかを深掘りすること」にハマっています。教材の打ち合わせ中に出てくる「え、それ教科書に載ってないですよね！？」みたいなお話が大好きです（笑）現場のちょっとした工夫や、「そんな見方があるのか！」という発想に触れるたびに、獣医療って本当に面白いなと感じています。

動物医療発明研究会でも、皆さまの“発明のタネ”のお話を聞けるのを楽しみにしています！
今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



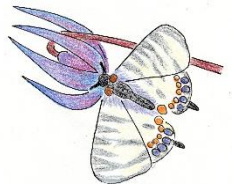


村田佳輝 千葉県　むらた動物病院 院長

東京農工大学 農学部附属

感染症未来疫学研究センター 客員教授







千葉県茂原市で開業しております、村田です。
診療所のある所は九十九里浜に面した自然に恵まれた片田舎で、森に囲まれた中に建っております。診療においては、二足のわらじを踏んでおり、眼科と感染症科を担当しています。また診療の傍ら、研究も行っており、主に真菌症、敗血症、薬剤耐性菌・薬剤耐性真菌、腸内細菌と免疫、人獣共通感染症特に溶連菌感染症、レプトスピラ症、SFTS、眼科感染症の研究を行っております。

今回は、会長の清水先生の特別なお計らいにより、研究テーマである人獣共通感染症、特に今、話題となっている、「SFTS、レプトスピラ症」のお話しをさせて頂くことになりました。またこれを機会に入会もさせていただきますので、今後とも宜しくお願い致します。



ここから自己紹介をさせていただきます。小さい時から田舎育ちのため、自然が大好きで、野山を駆けずり回って育ちました。夜寝る時に読む本は、動物、昆虫、植物、岩石と鉱物、宝石、魚、鳥の図鑑で毎日読んでから寝ていました。特に昆虫と植物が好きで、特に蝶々が大好きで、小学生時代から採集をして標本を作っておりました。とにかく他人の知らない事を覚えるのが大好きで、それが高じて科学者にも憧れて、将来は昆虫学者になりたいと思っておりました。今は獣医師で、感染症の研究をやっており、自然相手は趣味にしております。新しい病院を新築した 25 年ほど前のある日突然、「自分はどれだけの命を奪って標本を作ってきたのだろう？」「今の仕事は」と思い、採集は一切止めて写真に転向しました。

昔のある日の思い出です、池に魚を飼っていて、ふと池を覗くと、きっと卵が水草に着いてきたのでしょういないはずのメダカの子供がたくさん泳いでおりました。上を見ると鳥籠に保護した文鳥がおいしそうに餌を食べています。僕の後ろの縁側には、スピッツのピッコと白黒猫のマダラがおじいちゃんとおばあちゃんとポカポカな春の日差しの中で日向ぼっこをしています。モンシロチョウが飛んできて池の側のスミレに止まっておいしそうに蜜を吸っています。ああ僕は何て幸せなんだ、って思いました。これが命の尊さを想った最初の出来事のような気がします。

もうひとつ、幼い時、母が勤めていた山の小学校に休みの日に付いて行きました。バスから降りると小学校までは赤松林の中を 1 キロほど歩かなくてはなりません。所々林の切れた空間があり、木漏れ日が射すところがあります。秋の始まりの頃だったと思います、その空間のススキの間に、昨日覚えた秋の七草のオミナエシ、フジバカマ、桔梗、ワレモコウ、ナデシコの花と松虫草の咲いている姿が、夕陽を浴びてぼんやりとかすんで見えていました。「おかあちゃん、あきのななくさ、だよ」「そうだね、よくわかったね」こんな会話をしたのを覚えています（これが高じて、現在、山の中に赤松と秋の七草を植えた草庵を作ってしまい、今こもって、この原稿を書いております)。こんな環境と想いが自然大好き少年を作ったのだと思います。
成長してからは休みの度に毎日網を持って野山や川や海を駆けずり回っておりました。
今も相変わらず世界中の野山を駆けずり回っております。



〈私の欠点〉キラキラしたもの、綺麗なもの、いい匂いのするもの、美味しいものに弱い（笑）
〈現在の趣味〉昆虫と植物の写真、山野草の栽培、魚の写真、ダイビング、
サーフィン、登山、絵画鑑賞、お勉強（笑）
〈尊敬する人〉北里柴三郎、野口英世、宮沢賢治、牧野富太郎、アンリ・ファーブル、白水隆、
シュバイッツアー、レオナルド・ダビンチ、ガリレオ・ガリレイ、深澤幸雄、東山魁夷
〈好きな花〉松虫草、カタクリ、エゾエンゴサク、ヤマユリ
〈好きな虫〉ギフチョウ、ミヤマカラスアゲハ（春型）、ナガサキアゲハ（白いメス）、ヤマトタマムシ
〈今一番行きたい所〉コナンドイルのザ・ロストワールドの題材になったギアナ高地のロライマ





お薦めの本　清水宏子　（清水動物病院　副院長）

雑誌『＆Premium』No. 151 2026 年 7 月号 ≪Work & Life ／ 仕事と生き方。≫出版社：マガジンハウス

いい仕事をするために、大切にしていることは？
哲学系の永井玲花さんは「よい話し手になれるようにまずよい聞き手になること」
映画監督の今泉力哉さんは「なるべく対策に意見を交わし楽しい現場にすること」
エッセイストの寿木けいさんは「自分にしかできない仕事をつくること」
文筆家の甲斐みのるさんは「世界を加点法で観察して“好き”の引き出しを増やしておくこと」
家具職人の鰤岡力也さんは「100％やり切った仕事をぶつけられるように、お客さんと信頼関係を築くこと」
建築家の吉田隆人さんが「コニュニケーションツールをしての場づくりをすること」
喫茶店経営の横尾光子さんは「人との繋がりを絶やさず、直感を信じて行動すること」
デザイナーの吉田克草さんは「好奇心と感受性をもって、若い仲間と関わりあうこと」
職業の枠を超えた生き方のヒントがいっぱいの本です。
清水動物病院は、頼まれたすべてのことは後味のよい仕事にしたいなと思いました。







「年会費」納入のお願い

楽しく活気のある会続けていきたいと思います。未納の方は**年会費：￥4,000**（2026 年 4 月～2027 年 3 月分） 同封の振込用紙にて**9 月末まで**に郵便局へお振込みお願い致します。



SAMI NEWS　No.74
発行日　2026 年 9 月
発行所　動物医療発明研究会事務局
発行人　会長 清水 邦一
事務局　230-0061 横浜市鶴見区佃野町 3-3
清水動物病院内　清水宏子
TEL（045）583-3738　FAX（045）583-3594

君たちの保全医学

地球環境を守るために知り・学び・変わる

浅川満彦 / 村田浩一 著

四六判、128 頁、ソフトカバー、2026 年 6 月発行
定価 1,980 円（本体 1,800 円＋税）

本書は、これからの社会を担う若い世代の方々に向けて、保全医学という学問分野を紹介した 1 冊です。保全医学がどのような目的を持ち、どのような考え方に基づいているのかを説明するとともに、国際条約や法律など、社会の中でこの学問がどのように支えられているのかが紹介されています。また、保全医学に関わる仕事にはどのようなものがあり、どのような進路や学びの場があるのかについても、具体的に触れています。そして、保全医学の中心にある考え方がワンヘルス。「ワンヘルスの考え方や見方を、公共知や教養、そして文化にする！」ことを目論み、わかりやすく、軽妙な筆致でしたためてあります。獣医学、医学、生態学に関わっている方々、そしてその分野を目指す方々は、ぜひ本書の世界に浸り、新しい概念を身につけて下さい。



章構成	収載コラム
第 1 章 獣医文化教室の開始	保全医学研究所とは
第 2 章 ワンヘルスの図案・漢語化	動物園の出会いと別れ
第 3 章 保全医学という学際	国内での保全医学
第 4 章 生態学との関係	ホットスポット
第 5 章 ワンヘルスの現場	有機・無機的環境
第 6 章 サバイバル文化と世界	コウノトリ再導入計画

●ご注文は最寄の書店，オンライン書店，取り扱い店または直接弊社へ

文永堂出版
Tel 03-3814-3321
Fax 03-3814-9407
文永堂出版　検索　click!

新発売

レプトスピラ症の
急性期を見逃さないために

日本初*、
院内で簡単に
使える迅速検査

＊犬のレプトスピラ症感染初期IgM検出できる迅速診断キット







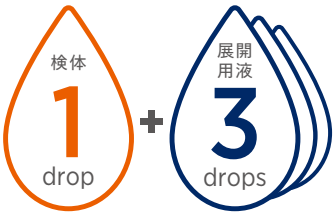
早期の検出

感染初期のIgMを捉え
急性期の
見落としリスクを低減



わずか10分

10分検査で、
次の一手を迅速に



簡便

ただ
滴下するだけ

犬抗レプトスピラ抗体　検査用キット

ベトスキャン レプト

動物用医薬品　体外診断用医薬品

ゾエティス・ジャパン株式会社
〒151-0053　東京都渋谷区代々木3-22-7

zoetis